



The Ys Men's Club Of Kyoto-Capital

2006 9

Bulletin

2006. 9. 1. 発行
第24巻 第3号 通巻278号

(CLUB OFFICE)
京都 Y M C A
〒600-8201 京都市中京区西本町二丁目1番1号
TEL (075) 231-4388

THE ONLY CLUB OF ITS KIND
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

CHARTERED 28 Sep. 1903

クラブ主題



との関係!

— 横並びの「和・輪・環」 —

国際主題	「愛をもって積極参加」	"Active Participation with Love"	IF: 池田 博司
アジア主題	「参画、そして感動を!」	"Participant and Inspiration"	AF: 佐藤 敏夫
西日本区主題	「一人はみんなのために、みんなは一人のために」	"One for all, all for one"	RO: 木本 隆三 (大阪東區)
京都府主題	「百花繚乱 一京都部」		OG: 土橋 隆二 (嵯峨/嵯峨野)
イベント主題	「ファミリーで参加しよう! ファイスダム 世界の愛が見えてくる」		520: 杉本 洋子 (大阪東區)

会長/大門 和彦
副会長/堀 本 純 夫
専任員 一
書記/山田 英 毅
会 計/香山 章 浩



『どんな召し使いも二人の主人に仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛するか、一方に親しんで他方を軽んじるか、どちらかである。あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。』
(ルカによる福音書 16章13節)



ワイズメンと YMCA

YMCA サービス・ユース事業委員長
山口 雅也

YMCA サービス・ユース事業委員長をお引き受けして2ヶ月、事業の多さや、委員会を開いたり、役員会に出席したりと、忙しい日々を過ごしています。要領よくやることもできるのですが、まずは自分でやってみようと思いを進めています。入会して日も浅く、初めての委員長経験ということで、プリテンのトップ記事にYMCAについて語れる引き出しも持ち合わせておりませんので、唯一お話しできる私とYMCAのかかわりについて書いていきたいと思います。

私とYMCAとのかかわりは小学校高学年のときに参加した「サバエキャンプ」が最初でした。はじめて会うリーダーや仲間たちとキャビンに泊まり、カヌーやキャンプ場で体験した楽しい思い出は今も忘れることはありません。高校では長岡YMCAで学習塾に通ったり、大阪土佐堀YMCA主催の「中国の社会とYMCAを訪れる旅」に参加して、上海、南京、北京のYMCAを訪問し、ちょうど文化大革命が終わりしばらくした頃の、復興と自由な経済に向けて歩んでいるイキイキとした中国を体験しました。成人してからは一時、三条本館のスイミングやエクササイズに通ったりしたこともあります。

また、私の弟は高校のとき、夏休みのほぼ1ヶ月間、アメリカで行なわれた「ワールドキャンプ」や「ユースコンボケーション」に参加し、本人に聞いたことではないのですがそのときの経験が彼の人生の大きな転機になったのではないかと思います。成長して帰ってきたことを覚えています。

いろいろと書いてきましたが他人に無いこのような経験ができたのは私の父親がワイズメンであり、YMCAが目指す青少年を育てる精神や様々なプログラムを理解し、興味をもって付き合ってきた結果であります。父はクリスチャンでもありませんし、ワイズメンにならなければYMCAのことも知ることは無かったです。そんな偶然のワイズとYMCAとの出会いが今こうして私の中に息づいているのです。

...チョットええ格好して書いてしまい実際冷や汗が出てきております...。ワイズに入会する動機や、活動を続ける目的は人により様々だとは思いますが、ワイズメンとYMCAとのかかわりは、すべてのクラブメンバーの上に等しく付与されているものだと思います。それを自らが享受するのか、自分の子供たちに門戸を開いてやるのかはワイズメン本人の意識や気持ちだと思います。文章で書くとなんか難しくなりましたが、気軽にYMCAの行事や、キャンプ、スキーなど楽しんでみてはいかがでしょうか?

今年のサバエのサマーキャンプに初めて長女と次女をそれぞれ別のプログラムに参加させました。楽しかったと喜んで帰ってきてくれました。ただそれだけのことですが、こちらもなんとなく嬉しくなりました。

西日本区
強調月間

9月 Menettes

ファミリーで参加しようワイズダム 世界の愛が見えてくる!!

松田 洋子メネット事業主任

8
月
報
告



会員比率

在籍者数	28名
第一例会	24名
第二例会	25名
メネット	4名
ゲスト	18名
メーキャップ	2名
特別メネット	1名
出席率	96.4%



即ポイント

切手	0g
現金	0円
累計切手	0g
累計現金	0円
JWF	0円
JWF累計	0円
FF累計	0円



ニコニコ

第一例会	8,000円
第二例会	10,000円
累計	38,000円



ファンド

第一例会	18,000円
第二例会	18,000円
累計	22,500円



献血

第一例会	0cc
第二例会	0名
累計	0cc
成分累計	0名



125周年

第一例会	2,178円
第二例会	0円
累計	77,517円

出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・古切手収集

8月第一例会

新しい駐車対策法制と自転車の乗り方

内廣 健

近畿地方に、例年より10日も遅れて梅雨明け宣言が出されたばかりの8月1日(火)、流れるような口調での岡島さんの司会で、定刻通りに開会点鐘となりました。

本日の講演ゲストである堀川警察署交通総務係長・廣瀬勝司様を起立拍手でお迎えした後、大門和彦会長の挨拶から、小学四年のご息がこの度、全国空手大会で優勝されたことと、京都から出場した数名の選手達も、夫々が好成績で入賞した結果の裏話として、一人ひとりの選手の技量を上回る程に、保護者達が一丸となって声援したことが、この好成績に繋がったように思われるとの感想を披露され、自分だけが良ければと言う風潮に向いつつある中で他府県の纏まりの無い声援振りと比較して考えさせられたようでした。

このエピソードも、大門会長が提言されている「和・輪・環」に繋がる話に思え、大いに感銘を受けた次第です。

引き続いて、ゲストの廣瀬堀川警察署交通総務係長様から、

2006年8月1日(火)
於 ウェスティン都ホテル京都

平成18年6月1日より施行された「新しい駐車対策法制と安全な自転車の乗り方について」と題しての講演を拝聴させて頂いたのですが、

- ・民間に駐車取締り違反事務委託が為されて、ミナシ公務員の監視員が設置されたこと。
- ・運転者責任と所有者責任が明確化されて、罰則が課せられることになったこと。
- ・新道路交通法は自転車の罰則規定にも及んで、交通取締りを受けることになること。

等々の説明があつて、認識を新たにすることが出来ました。

現代はモラルの低下が云々されている時代ですが、人間一人ひとりがルール・マナー・モラルを自覚する心を持つならば、このような法規制を厳しくする必要がないのではないかと反省しつつ、家路についた私です。



8月第二例会

納涼？ 合同例会

大山 孜郎

今日は、大阪センテニアルワイズメンズクラブとの合同例会である。

会場へは、山科が自宅の私は、地下鉄東西線「東山三条駅」で下車し、白川沿いを通って歩いて会場に向かった。

知恩院の前で、岡島さん出会う。「暑いですね...。チョット歩いて汗が出ますね...」と声を掛け合ううちに会場に到着。定刻の15分ぐらい前だったか。既に大阪のY'sの皆様は揃っておられる様子。メネットの姿がやたらと目に付く。

席は事業委員会毎とのことで、地域奉仕委員会の席に着席。隣に座っておられたお客さんと、さっそく名刺を交換、三浦直之さんであった。これは三浦さんから聞いた話であるが、大阪センテニアルワイズメンズクラブは、チャ・タ・が1982年であり、わがキャピタルクラブより一年先輩。「大阪センテニアルクラブ」との命名は、大阪YMCA創立100年を記念して設立されたからとのこと。

決して納涼とは言えない暑い例会ではあったが、これまで縁のなかった両クラブが親睦を図れたのは確かである。こんな例会もありか.....。

2006年8月19日(土)
於 知恩院 和順会館「華頂」



坂本会長(右)と大門会長



藤原正巳さんによる講談！
柳さん、八木さんによる迫真の演技！
一同が見入った瞬間でした。
(柳さん、八木さん、写真がなくてすみません)



森さんニコニコ



大阪センテニアルクラブのお客様

石津雅人、坂本哲朗・千春、隅田恵子、谷川寛・有美子、永島 寧、鍛冶田千文、藤原正巳、松浦孝次・和子、三浦直之、山田孝彦、山村利子

<ゲスト> 藤好基子(大阪なかのしまクラブ)、藤好 洋、豊島正利(大阪クラブ)

<クラブゲスト>

森 繁樹(大門さん紹介)、幡南 進(香山さん紹介)



人生の名シーン

私とボランティア

岡島 脩雄

21歳の当時は東山区でしたが、青年団活動をし、いろいろな交流がありました。

中でも宮津市で開催された府青年団体育大会では卓球の部で優勝し全国大会に出場、国立競技場で開催されました。

続いて各競技の監督会議が開催され、大会役員が「ボク」の来る所と違うと言われ、「私は京都の監督です」と言った事は今でも脳裏から離れません。全国で最年少の監督だったと思います。

現在は学区の自治連合会、体育振興会、少年補導、卓球クラブの役員をしております。年中日曜日は行事があり忙しい日が続いておりますが、これも地域に根ざした運動をさせて頂き感謝しています。

私は総ての人に対して言葉使いには注意するよう常に心がけております。

一つの言葉で人を傷つけ、一つの言葉で励まされ、一つの

言葉で喜ばれる事があるからです。

人生の迷シーン

橋本 眞一

今年に入り身の回りに不安な心配事や判断に苦しむ出来事が多発し、「人生の迷シーン」に遭遇するケースが急増しています。

六星占術によりますと、私(土星人-)の今年の運気は陰影で、来年が停止、再来年が減退と向こう3年間の大殺界に入ったということでした。一切の運気が急激に衰え始め、今までは考えられなかったようなミスやトラブルが相次ぎ、すべての物事がうまく行かなくなるというのです。

人から裏切られ騙されるなど対人関係が急激に悪化し、仕事運、愛情運、家庭運のいずれもが衰退の一途をたどり心休まる時がないと。人を呪い、世を恨み、ノイローゼになるのもこの時期だというのです。

完全に八方塞がりの状態となりますので、全ての面で新たな成果は期待出来ません。過去の遺産を食い潰して生きるしか方法はなく、何もせずにただおとなしく耐え忍ぶ以外にないようです。

3年後生きていることが出来たら、その後に「人生の名シーン」を迎えたいと思っていますので、その折には宜しくお願い致します。



京都キャピタルクラブの皆様

大阪センテニアルクラブ会長
坂本 哲朗

合同納涼例会のお礼

先日は、納涼例会では、たいへんお世話になり、ありがとうございました。

当クラブメンバーも貴クラブメンバーの方々と、交流できたことをたいへん喜んでおります。

現在どうしても、年齢層が固定されてしまっている、ワイズの中で、20代のクラブメンバーから、70代のクラブメンバーまでの構成が幅広く、たいへんバランスも良く、各年代を超えたメンバーの絆も深く、たいへんうらやましく思いました。我がクラブにおいても、今回の納涼例会は、メンバーには、考えていた以上に刺激がありました。貴クラブの躍動したエネルギーをもらい、クラブの活性化の起爆剤にしたいと考えます。

また、今回の納涼例会は、京都部と中西部の違った所属クラブが、合同で納涼例会を行ったことは、たいへん画期的なことではなかったかと考えます。このような交流が、ワイズの醍醐味であり、今後も、貴クラブとは、何らかの形で、交流できることを、切に願います。

最後に、大門会長、勝山ドライバー委員長には、今回の会場の手配から、プログラムまですべてにおいて、お世話になり、たいへんありがとうございました。

また、今回の企画が成功するように陰で、支えてくださった友人の柳事業主査にもお礼申し上げます。

第67回 釜山国際大会盛会に終る

釜山ベゼルクラブ・東京クラブと交流

日時 2006年8月3日(木)～6日(日)

場所 釜山 BEXCO・ロッテホテル

金海空港に出迎えたベゼルクラブの皆さんと再会を喜び、「白頭亭」という店で韓国の昼食をご馳走になり、元気な旧知のメンバーも顔を見せてくれ喜びも一入であった。贈物の交換をした後会場の BEXCO へ直行した。

既にパナーセレモニーが始まっていた。67地域、1,527名のメンバーの代表によって、各国のパナーは国名を記した盾の後に続いて入場し、舞台中央にずらりと並んだ。国際大会に出席しているという実感がじわりと身を包んだ。参加人数では韓国区に次いで2位が東西日本区であると発表された。

西日本区からは京都部の36名を含めて134名が登録していた。京都部の中でもプリンスクラブの16名、私たちの12名、トップスクラブの7名が目を引きだした。東日本区は83名が登録され、東京クラブから18名が参加していた。

盧大統領のメッセージが映像と共に披露された。親睦の内に奉仕活動を行い、全世界の飢餓の問題と戦い、社会改革に献身的に働いている皆さんに賛辞を贈るというものであった。この大会にかける韓国の人たちの情熱が伝わった。基調講演は「愛をもって積極参加」と題して、Park Hoong 牧師によって行われた。(抄録参照)



釜山市長主催の晩餐会は同じ会場で行われ、ハリーバランタイン賞に今村一之さん(大阪土佐堀)、エルマークロウ賞に西日本区からは恵美奈博光阪和部部長(大阪サウス)、東日本区からは松本良三東新部部長(東京クラブ)が発表され、関係する人たちから祝福の歓声があがった。松本良三さんは、DBCの東京クラブの方だけに喜びも一入であった。

二日目の午前中は会場をロッテホテルに移し、午前中は Roland Dalmas 国際書記による国際の報告があった。73地区、1,633クラブ、28,671名の現況。財政もクラブ活動も全てが順調に推移していると報告されていた。とりわけ各レベルの献金額については、一人当たりの数字が強調され、総額では多くの貢献をしている東西日本区のことについての、発表がなかったのには不満が残った。その他、新しいアイデンティティーの創造、リーダーたちの協調、全ての物事に対する情熱的な関心と関与が、様々な人たちやプログラムに大きな幸せを齎すであろう、ということで締めくくられた。

昼食会も同じ会場であった。吉本貞一郎国際議員(熊本クラブ)の英語による食前感謝があり、ランチタイムとなった。松本東京クラブ直前会長の配慮と森交流委員長長の働きで東京クラブの方々とテーブルを共にして、交流のひとつときをもてたことは幸いであった。この後14時にベゼルクラブの人たちが出迎えに来られ、買物と夕食とカラオケによる歓迎と懇親の長い時間が始まり23時近くに宿舎のロッテホテルに戻った。

三日目はベゼルクラブの方たちによって、金海空港まで送っていただき、無事に昼過ぎには閑空に到着した。暑い夏の二泊三日の短い旅は、多くの思い出とメンバーの親睦の濃度を深めて終った。(岡本尚男)

参加者 石倉尚 岡本尚男・都 香山章治 大門和彦
竹田博和 仁科保雄・節子 堀一之・明美 森常夫 山田隆之

基調講演抄録

愛をもって積極参加

Park Hoong

「あなたたちならびにあなたたちと共にいるすべての生き物と、代々としえにわたしが立てる契約のしるしはこれである。すなわち、わたしは雲の中にわたしの虹を置く。これはわたしと大地の間に立てた契約のしるしとなる。わたしが地の上に雲を湧き起らせ、雲の中に虹が現れると、わたしは、わたしとあなたたちならびにすべての生き物、すべて肉なるものとの間に立てた契約に心を留める。水が洪水となって、肉なるものをすべて滅ぼすことは決してない。雲の中に虹が現れると、すべての肉なるものとの間に立てた永遠の契約に心を留める。神はノアに言われた。これがわたしと地上のすべて肉なるものとの間に立てた契約のしるしである。」創世記9章12節～17節

私はワイス国際大会のために釜山に来られた皆さんを心より歓迎いたします。釜山は韓国で最初のワイスが誕生した地でもあり、このたびの国際大会が釜山で行われた意味がそ

こにあります。

私たち YMCA とワイスの共通の目的は平和で、安全な世界を作ることです。しかし、最近の世界情勢はその目的から程遠い状況を示しています。生態系の破壊、環境問題、地球温暖化問題などはテクノロジーの乱用に起因しています。

現在、世界は自然環境の破壊と共に人類が滅亡に向かっていることに気づき始めました。水質汚染と大気汚染、温暖化と海面上昇、酸性雨、森林伐採、天然資源の減少や遺伝子工学の発展という問題に私たちはすでに直面しています。これらのことはこの地球の運命にとっては大いなる脅威です。

しかし、私たちに二つの道があります。破壊への道と生への道です。私たちは神の正義と平和の定義だけでなく、人類と自然の基本的な関係の再構築のために神の創造である地球を守ることから始めなければなりません。

私たちは人類だけでなく神が最初に創造された宇宙を含むイエス・キリストの救済を理解しなければなりません。私たちはすべての創造は神の創造であり、神の栄光のための創造であると信じます。これは人類が人類自身のためにも他の組織のためにも神の創造を不正に使用する権利がないことを意味します。

いま大切なことは神の正義と平和を維持するために必要なものを理解する心です。世界が直面している問題は違う様相を呈していますが、それらは神が創造された生活を否定する死の力です。しかしこの世の戦いは神の創造のために生きる力を結集して死の力に打ち勝つことです。

創世記9章12節から17節で神はカインの墮落した子孫を洪水によって破滅させ、新しい世界とともにノアを祝福し、神と人類の新しい契約を作られた。虹はその契約のしるしでした。神は言われた。私はあなたと後に続く子孫と契約を立てる。私は雲の中に虹を置く。これはわたしと大地の間に立てた契約のしるしとなる。

しかし、今、私たちは別の洪水の脅威と向き合っています。この脅威は神から来るものではなく私たちによってもたらされたものです。私たちはこの洪水と虹の間にいます。それは洪水によって滅ぶか、満ち足りた虹の人生を生きるかの選択によります。どちらの生き方を選びますか？

もちろん、神の国とワイスダムの建設の道への生き方を選ばなければなりません。

(京都 YMCA 阿部和博 岡本尚男 訳)

いざ国際大会へ！（出発編）

大津在住 石倉 尚

今回の関空までは、「自宅までタクシーがお迎えに参ります」とのこと。しかし、それは京都のはなし。

8月3日（木）4 30 自宅を車で出発。まずは、京都へ。4 50 京都の会社着。予定通りジャンボタクシーが来る。さあいざ関空へ！と思いきや...何のことはないこれから「自宅へお迎えに」...「森さんおはようございますう〜」...「仁科さんおはようございますう〜」...「岡本さんおはようございますう〜」...では、いざ関空へ...

関空から釜山まで飛行機で1時間...自宅から関空まで3時間...

関空までの道のりは、暗くつらかったが、ベゼルクラブのメンバーは、いつも私たちを暖かく迎えてくれます。関空から帰るのもつらいですが、韓国ではとても楽しい時間を持つことができました。感謝です！

初めての国際大会

香山 章治

私は国際大会へは初めての出席ということで大変楽しみにしておりました。実際に行ってみますと、予想通り各国より多数のメンバーが参加されており、規模が大きすぎて圧倒されました。もちろん、IBCベゼルクラブ大歓迎のもと食事等のおもてなしを受け、またまた大変お世話になり良い思い出づくりができました。

また、2日目昼食会ではDBC東京クラブとの合同昼食会ができ、色々な楽しい会話はずみ、来年の桜の季節に京都の方へこられる話もされてました。その時を楽しみにしておりました。

国際大会・IBC・DBC とすべてを盛り込んだ、充実した内容と同時にキャピタルメンバーの懇親もより深まったものとなり、大変満足いたしました。



感動・感謝

大門 和彦

今回の国際大会はIBC締結先でもあるベゼルクラブとの交流も兼ねての参加となった訳ですが、国際大会のホスト役として非常に忙しい中、熱烈的な歓迎をして頂いた事には本当に感謝したいと思います。空港に着するなり大段幕を掲げお迎えして頂き、歓迎昼食会場までベゼルクラブメンバーの自家用車に分乗して送って頂き、「これでもか...」という程の食事を頂き、国際大会会場までまたもや自家用車で送って頂いた。会場でもキャピタルメンバーにきめ細かく気を使って頂き「感謝」の一言！

翌日も当初の予定を変更してベゼルクラブメンバーの協力によって釜山市内を案内して頂き、お土産を買うためにお付き合い。トランクが一杯になるほど買い込み夕食会場へ。又しても大満足の食事。続いて懇親カラオケ大会。当クラブメンバー中心に歌う踊るわ大満足！ 帰国当日も空港まで送って頂いた。ここまでの接客をして頂くと、「感謝」の一言では済ませられない「感動・感謝」という言葉がピッタリする3日間でした。

来年はベゼルクラブが日本に来られる年。今回のことを忘れず我々のできる精一杯をさせて頂きたいと心底誓った。形式的なIBCの交流とは違い「真の兄弟クラブ」になれた訪問



になり、キャピタルクラブ全員が大満足で帰宅の途に着いた。

竹田 博和

私にとって4回目となる訪韓は、国際大会とホームステイという初めての体験ばかりでした。国際大会とはいうものの、開催地が韓国ということもありアジア系の人たちが目立つ大会でした。ベゼルクラブの方々との再会は言うに及ばず東京クラブの方々とも交流が深められ、楽しい一時を過ごすことが出来ました。また、ホームステイでは李さん宅にお世話になり夜遅くまで杯を傾けておりましたが、いつものことではあります。ベゼルクラブの方々の心よりの歓迎に感謝しつつ帰国の途につきました。



李さん宅の竹田さん、森さん(左から)

国際大会とホームステイ

仁科 保雄

私たちのIBC締結先のベゼルクラブも国際大会開会に多大の奉仕をされている大変なときにIBC交流会として、私たちが歓迎していただき大変なご苦勞であったと思います。いつもながらベゼルクラブの金錫伊会長やメンバー、メネットの暖かい歓迎に加え、行き届いた接待に感激いたしました。日本からも多くのメンバーが参加しておられましたがそれぞれのIBC先との交流をもたれていました。

私たち参加者12名のうち4名がホームステイをしていただくことになり、それぞれのご家庭を訪問いたしました。

私の場合は金会長のお宅にステイさせていただきましたが「なぜもっとホームステイを受け入れてもらえないか」とおっしゃっておられました。

ベゼルクラブの気持ちを考えるとき、もう少し相手の気持ちを理解し、互いの友好のための心があっても良かったのではなからうかと思いました。

相互に心の大きなふれあいがあればこそ、これからのクラブ交流も発展するのではないかと考えさせられました。これからもIBC締結が生まれる可能性もありますが、相手の気持ち、文化を大切に、こちらの文化を伝えていく心がクラブに出来上がっていることが大切であることを痛感いたしました。

堀 一行

今回の国際大会の会場は、日本から最も近い韓国、それも釜山とくれば地理的には国内旅行より近い感じがする。私にとって国際大会は、ワイズ活動の原点のようなもの、それは入会まもない1978年のメルボルン大会に参加したことがワイズにはまる原因になったからです。以来、10回ぐらい参加しましたが、今回はIBCのベゼルクラブがコ・ホストクラブということもあり、どうしても出席しなければということ、メネット共々参加をさせて頂きました。でもあまりに近いためか、今まで参加した大会とは一味ちがう大会になりました。ベゼルクラブとの交流が主で、国際大会の雰囲気やゆっくり楽しむということの出来ない慌ただしいものでした。

いつものことながら、ベゼルクラブの熱烈歓迎をうけ、楽しい今回の旅でありました。

山田 隆之

国際大会に初めて参加いたしましたが、キャピタルクラブが国際的な組織に属していることをあらためて実感いたしました。

2日目からはベゼルクラブとのIBCのプログラムも同時始まり賑やかで楽しい時間を過ごすことができました。

大阪センテニアルクラブ メネット例会のご案内

日 時 9月20日(水) PM 6 30~
場 所 堂島 リーガランドホテル3F
会 費 3,000円
講 演 「アンチエイジングの食育」
お食事はホテルのコース料理です。
女性にとって、アンチエイジングは関心の深いものだと思います。一緒に参加いたしましょう。
メネット会長 山口 弘子

第37回 全国 YMCA リーダー研修会

テーマ

Let's make Our communication

～愛・思いやり・希望

子ども達とともに未来を拓くリーダーを目指して～

主 催 全国 YMCA ウエルネス推進会議
主 管 京都 YMCA
日 程 2006年10月7日(土)～10月9日(月) 2泊3日
会 場 京都市野外活動施設 花背山の家
601-1105 京都市左京区花背別所町399
対 象 全国 YMCA にてボランティア指導者として奉仕
をしているユースリーダー

参加費 21,000円

定 員 150名

高度情報化やグローバル化の進展、科学の飛躍的な進歩を背景に、大人のコミュニケーションばかりでなく子ども達のコミュニケーションも複雑・多様化しています。

コミュニケーションの現状と課題について深く掘り下げながら、私たち YMCA の活動やリーダーのあり方をもとに考えます。

基調講演

同志社女子大学生活科学部人間生活学科 村瀬 学教授
仮題「現代の子どもの文化」

～子どもの発想とコミュニケーション～

実行委員会の作成したホームページをご覧ください。

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/ymcacamp/zenri-ken06/index.html>

主管事務局

京都YMCA 第37回全国リーダー研修会
運営委員会事務局

8日の昼食を私達が担当します

聖句の解説 私達の身の回りには、心・興味を引くものが沢山あります。それは玩具だったり遊びだったり。友情であったり、名誉であったり、あるいは誰かの想いであったりします。様々な価値が私達の周りにはある、と云うことができるでしょう。

あれも欲しい、これも欲しい、しかしイエスは、「あなたがたは、神と富とに仕えることはできない」とします。富とは、この世の中にある様々な価値を表現する言葉です。そして、仕えるとは、まさにそれを「第一のものとする」ということに他なりません。

さて、私たちの、生き方はどうでしょうか。

HAPPY BIRTHDAY

メンバー

堀 一行 9. 1 菅原 縦一 9. 11
山口 弘子 9. 16 豊田 貴志 9. 18

メネット

菅原由利子 9. 20 山田とも子 9. 20

コメット

山口昴一郎 9. 9 山田 智也 9. 12
石倉 斉 9. 27

9月・10月予定抄

9月3日(日) リトセン秋の準備ワーク
9月3日(日) サバエ準備ワーク
9月10日(日) 京都部会 びわこホテル
9月24日(日) ふれあい広場『国立民俗学博物館』
10月8日(日) YMCA リーダー研修会 花背山の家
10月9日(月) ベテスダ祭

第6回 役員会議事録

2006年8月22日(火) 19 00～21 00

ウエスティン都ホテル京都 平安閣

<報告事項>

西日本区

- 第10回中部部会案内「中部ワイズダム120を目指して」
日時 2006年9月18日(祝) 受付12 15～
場所 四日市シティーホテル 登録費 10000円

京 都 部

- 京都部会 2006年9月10日(日) びわこホテル
- 京都部交流委員会アンケート 交流委員長へ
- 新山次期京都部部長より 次期メネット主査就任要請

Y M C A

- 全国リーダー研修会 10月8日花背山の家インド料理出店
- ピースリーダーシッププログラム 六甲山 YMCA
11月10日(金)～11月12日(日)
- YMCA手帳、合同祈禱週パンフレットのご案内

三 役

- 納涼合同例会 8月19日(土) 知恩院「華頂」19 00
大阪センテニアルクラブ HBの開催
- 十勝クラブ 十勝ワイズメンズクラブ物語の件 例会で回覧
- 納涼例会ゲスト 森 繁樹様、幡南 進様
- 次々期会長選考委員会の開催に関して

<各事業委員会報告>

- Yサ・ユース ▶平和の集い・リトセンワーク・リーダー研修
- 地 域 奉 仕 ▶ふれあい広場、ベテスダ祭について
- ドライバ ー ▶月例会の予定、司会担当、講演者人選など
- 広報ブリテン ▶9月号 内容報告
- フ ァ ン ド ▶カタログオークション概要説明
- 交 流 ▶東京クラブ DBC に関して
- E M C ▶EMC 交流会報告、例会出席状況報告など

<審議事項>

- 次期メネット主査依頼について 承認
- 選考に関しては三役会に一任 承認
- 次々期会長の選考委員会日程に関して委員会に一任 承認
- 東京クラブ DBC に関して
日程を4月7、8日に開催する 承認
- キャピタルクラブ例会日を変更し合同例会とする 継続審議

